

平成27年度事業実績一覧

主な取り組み	課等名	事業名	事業内容	決算額	事業実績・成果
庁内体制の充実	企画政策課	多文化共生意識啓発講座	外国人市民への行政サービスの向上を目的に、市職員を対象とした研修会を実施するもの。	—	一般財団法人自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー派遣制度を活用し、「多文化共生」に関する講座を実施し、市職員の意識啓発を図るとともに、国際化の推進に努めた。 参加者数:31人
市民団体や関係機関などとの連携及び協力体制の整備	企画政策課	印西市国際交流協会事業支援	市の国際化推進に係る施策の一翼を担う市国際交流協会の事業を支援するため、補助金を交付する。	500,000円	事業支援として補助金を交付することにより、協会事業が円滑に実施され、市の施策を推進することができた。
行政サービスの充実	広報広聴課	印西市公式ホームページ運用管理委託	速報性に優れたインターネットの特性を活かし、市政に関するさまざまな情報を迅速かつ確実にホームページを活用して提供する。 ※契約期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日	2,822,688円	ホームページの自動翻訳機能により、多言語(英語・中国語(中文簡体・中文繁体)・韓国語)で市政情報を提供することができた。
	企画政策課	広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成	外国人市民への情報提供を充実させるため、広報紙の抜粋を英訳し、市役所や公民館等への設置や、市ホームページに掲載する。	96,000円	外国人市民への行政情報提供の充実として、毎月1回、INZAI NEWS LETTER(広報いんざい1日号(抜粋)英語版)を発行した。 設置場所:市役所ロビー、市民課、支所、出張所、公民館、図書館、コミュニティセンター、市ホームページ
		広報いんざい1日号「外国人のみなさんへ」掲載	外国人市民への情報提供として、広報いんざい1日号に「外国人のみなさんへ」を掲載する。(翻訳代)	22,000円	広報いんざい1日号「外国人のみなさんへ」のコーナーで、日本語(ルビ付き)、翻訳文を掲載し、外国人市民へ情報提供した。(11月1日号を除く。)
		外国人のための無料相談	外国人市民の生活支援として、外国人市民を対象に法律や生活に関する相談に対応する。 ※市国際交流協会との共催事業	—	市国際交流協会所属の行政書士を相談員とした相談窓口を毎月1回開設することにより、相談体制を整備することができた。 相談数及び相談者数:3回(3人) ※予約は6回
		印西市国際化推進懇談会	市の国際化推進に係る施策に市民の意見を反映させるため、国際交流関係者、学識経験者、公募市民、外国人市民を委員とした会議を設置し意見交換する。	130,000円	「印西市国際化推進方針」の改定について会議を行った。 会議開催数:3回
	クリーン推進課	ごみの減量化・再資源化事業	英語・中国語・韓国語版の「資源物とごみの分け方・出し方」(平成27年度作成)を作成し配布する。	—	家庭ごみのごみ出しルールをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」の外国語版(英語・中国語・韓国語)を各500部作成し配付した。 ※決算額は日本語版と一括支払のため算出不可。
	健康増進課	外国語版母子健康手帳の発行	言語の差異なく母子保健に関する知識普及を図り、必要な保健サービスが受けられるようにするため、日本語が分からない家庭の妊娠届出の際に、母子健康手帳を外国語版(英語・中国語・韓国語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・スペイン語)で発行する。	9,281円	外国語/日本語併記母子健康手帳購入実績 中国語:3冊、韓国語:1冊、タガログ語:1冊、タイ語:1冊、ポルトガル語:2冊、インドネシア語:1冊、スペイン語:1冊 外国語版母子健康手帳 交付実績 英語:2冊、中国語1冊、ポルトガル語2冊

平成27年度事業実績一覧

主な取り組み	課等名	事業名	事業内容	決算額	事業実績・成果
地域への参加の促進	市国際交流協会	外国人市民との交流事業	外国人市民を対象にイベントを実施し、外国人同士の交流や日本人との交流を促進する。 ※市との共催事業	—	ジャパンデー(茶道・書道・着付け体験等)や、木下歴史散歩(博物館・舟めぐり)のイベントをとおして交流が図られた。 — ジャパンデー:92人(中国・タイ・モンゴル等)、木下歴史散歩:24人(アメリカ・ジンバブエ・インド)、弓道教室:16人(アメリカ・ベトナム)、フレンドシップカフェ:206人(中国・ドイツ等)
	市国際交流協会	日本語教室運営	外国人市民を対象に日本語習得を支援するとともに、他の外国人や日本人との交流機会を提供する。 ※市の後援事業	—	市内4箇所です5クラスを運営することにより、外国人市民の日本語学習機会を充実させることができた。 参加者数: — 火曜日クラス:4~7人(タイ・韓国・中国)、水曜日クラス:15~23人(中国・韓国・フィリピン・モンゴル・台湾、タイ)、木曜日クラス:4~10人(中国・韓国・ブラジル・ネパール・台湾)、土曜日クラス:8~15人(アメリカ・フィリピン・タイ・中国、ロシア)、土曜日夜クラス:4人(スリランカ・アメリカ)
学校における国際理解教育の充実	企画政策課	幼稚園・小中学校異文化理解推進事業	市立幼稚園及び小中学校に外国人講師を派遣し、母国紹介を通して異文化交流をする。	65,000円	外国人講師の母国紹介を通して、異文化への理解を深めるとともに、日本との違いを学んでいただいた。 学校名及び参加者数: 滝野小:93人、原小:101人、平賀小:115人、小倉台小:100人
	保育園	ハローフレンズ	市立保育園児が外国人講師とその講師の母国語を使って触れ合うことにより、他の国の言語や文化に親しむ。	81,300円	外国人講師との外国語による遊び(歌やゲームなど)を通して、異文化への関心を高めていただいた。 保育園名及び開催数(参加者数): 大森:4回(延べ41人)、木下:4回(延べ53人)、木刈:3回(延べ60人)、高花:4回(延べ79人)、西の原:4回(延べ112人)、もとの:4回(延べ101人)
	指導課	国際理解教育推進事業	英語教育において実践的コミュニケーション能力を育成するため、英語を母国語とする外国語指導助手を市立小中学校に配置する。	48,351,600円	外国語指導助手(11名:アメリカ3名、イギリス2名、フィリピン3名、オーストラリア1名、ガーナ1名、カナダ1名)の配置により、児童生徒は外国語活動の時間や授業の中で生きた英語や諸外国の文化を学ぶことができた。また、これからの国際化に向けた英語教育において、実践的コミュニケーションをより良い環境で学ぶことができた。
	指導課	イングリッシュトレセン	夏季は小学生、冬季は中学生を対象に英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験し、英語運用能力の育成を図る。	40,919円	夏季は132名の小学生が参加し、冬季は25名の中学生が参加した。国際交流協会から夏季、冬季合わせて延べ21名のボランティアが参加した。ALTの委託契約しているインタラックにALTの派遣を依頼した。 夏季は7月に1日ずつ2日間で実施。冬季は12月に1日のみ実施。
地域における多文化共生意識の啓発	企画政策課	異文化理解講座	市民の異文化理解を推進するため、一般市民を対象に、外国人市民等を講師とする異文化理解講座を定期的に実施するもの。	42,000円	市内の公共施設を使用し、千葉県国際交流センターに依頼した講師の出身国の紹介を行った。 開催数:年6回、5月から12月の間で実施。(6月・11月を除く。) 参加者数:89人